

古事類苑

地部三十六

琉球

琉球ハ、一ニ沖繩ト云フ、薩摩ノ西南海中ニ在リ、東北ヨリ西南ニ亘リ、凡ソ二十七里東西廣キ處十里、狹キ處一里餘、南北凡ソ十里、周廻凡ソ七十四里、地勢狹長、山川ノ稱スベキナシ、中世畫シテ三區ト爲ス、中頭島尻國頭ト曰フ、而シテ大小數十ノ島嶼之ニ屬シ、點々海中ニ散布ス、

琉球開國ノ始祖ヲ天孫氏ト曰フ、相傳フルコト二十五世、島中大ニ亂ル、浦添按司尊敦、代リ立テ全島ヲ統ブ、是ヲ舜天王トナス、尊敦ハ源爲朝ノ子ナリト云フ、永享年中、將軍足利義教、薩摩ノ守護島津忠國ニ琉球ヲ賜ヒ、其附庸トス、是ヨリ先、琉球明ニ通ズ、是ニ於テ皇朝及ビ明ニ兩屬ス、既ニシテ漸ク使聘ヲ修セズ、慶長十四年、島津家久將軍、徳川秀忠ニ請ヒ、將ヲ遣シテ之ヲ伐ツ、是ヨリ世々貢禮ヲ修ス、明治維新ノ後、詔シテ藩ト爲シ、國ヲ西海道ニ屬セシム、後又藩ヲ廢シテ沖繩縣ヲ置キ、全島ヲ統治セシム、

名稱

〔下學集〕上琉球リウキウ

〔易林本節用集〕利琉球リウキウ外

〔國朝舊章錄〕八琉球國之事略

異朝の書を按るに、昔は流求と記したり、近代に及て琉球とは記せり、一説に流虬と記せしを、今